

伊方1号機補助建家排気筒のひび割れについて(1/2)

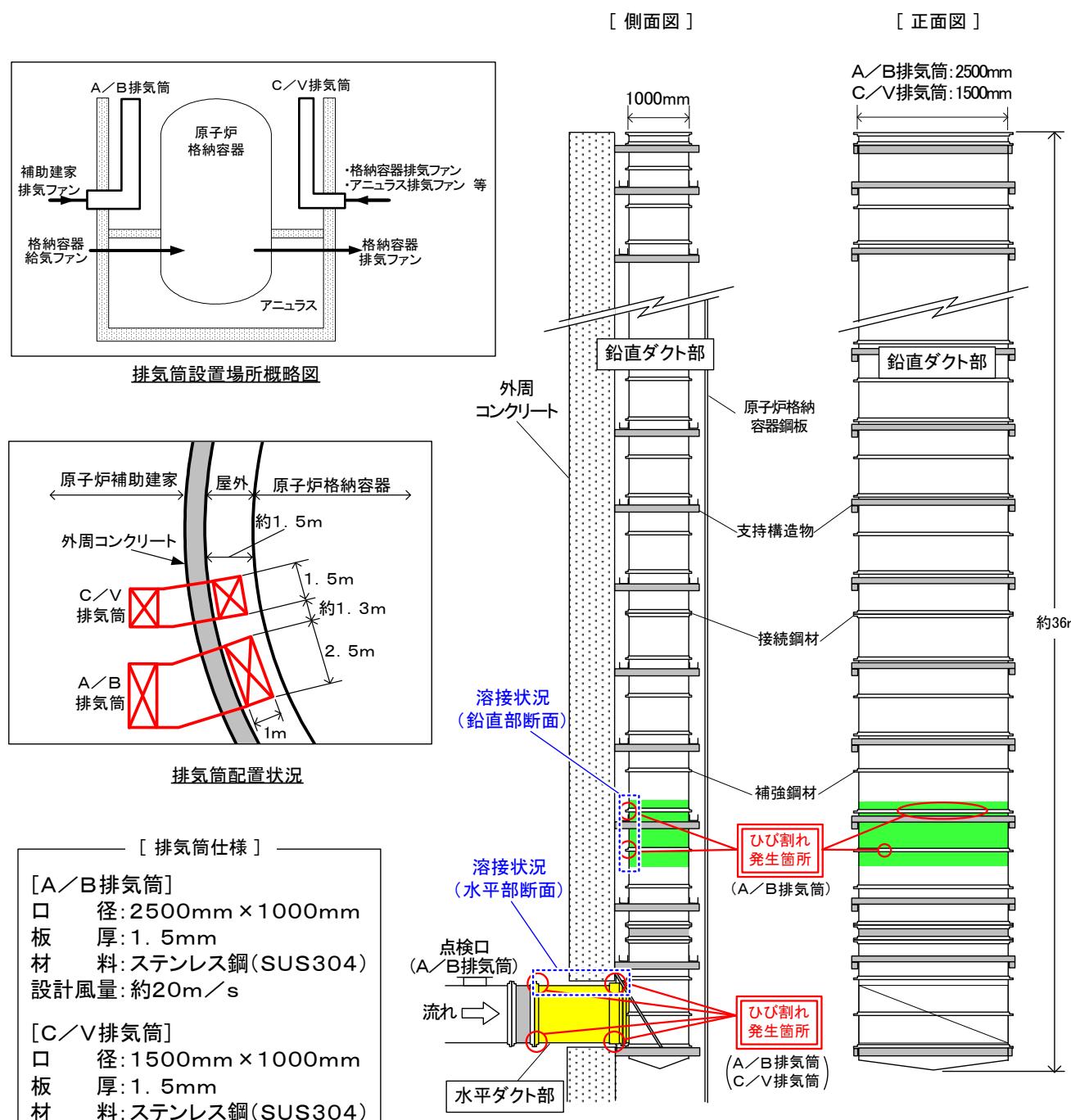
事象発生概要

伊方発電所第1号機(定格電気出力566MW)は、第22回定期検査において、補助建家排気筒(以下、A/B排気筒)の点検口設置工事に伴い、点検口周辺の内部点検を行ったところ、12月23日15時に補助建家排気筒水平ダクト部に貫通しているひび割れを確認した。

その後の状況調査の結果、当該排気筒水平ダクト部に15箇所、鉛直ダクト部に5箇所の合計20箇所、また、格納容器排気筒(以下、C/V排気筒)水平ダクト部に1箇所のひび割れがあることを確認した。

排気筒の構造

排気筒は、大容量の空気を排気するため、大口径で薄肉のステンレス鋼板の構造としている。また、ステンレス鋼板に補強鋼材等(炭素鋼)を断続溶接により取付け、薄肉構造を補強するとともにステンレス鋼板の振動も抑制している。



ひび割れの状況

- (1) A/B排気筒鉛直ダクト部において、補強鋼材の断続溶接部近傍で5箇所(⑯～⑳)のひび割れが認められた。
- (2) A/B排気筒水平ダクト部において、接続鋼材等の断続溶接部近傍で14箇所(①～⑪、⑬～⑯)、水平ダクト部と鉛直ダクト部の接続鋼材シール溶接部で1箇所(⑰)のひび割れが認められた。
- (3) C/V排気筒の水平ダクト部において、A/B排気筒シール溶接部とほぼ同様の位置に1箇所(㉑)のひび割れが認められた。

